

質問力を磨く(社会と向き合うI)

科目ナンバリング CAE-227
選択 4単位

松本 美奈・霜島 駿太

1. 授業の概要(ねらい)

社会に出たら、あなたは次のどちらかに分類されます。

- ・AIを使う人
- ・AIに使われる人

どちらに分類されるかを決めるのは、あなたの「質問力」です。「い何が問題か?」と問い、自ら解決策を考えられる人は「使う人」になります。「?」が浮かんでこない人は「使われる人」になるでしょう。AIは自ら「?」を見つけられません。問われたことに答えるだけです。AIにできないことがあなたにできるか。それが人生を決めるのです。

目指すは、世界の出来事を自分事として受け止め、課題を見つけ、解決できる人——「グローバル市民」です。教材には読売新聞を使います。社会の現実を知らなければ、問いはつくれません。毎日の朝夕刊を読み、社会を俯瞰し、質問力を磨き、より多くの人が幸せになれる社会を創造していきませんか。社会は質問力を磨いたあなたを待っています。

*教材として使うため、読売新聞朝夕刊を購読し、授業に毎回持参してください。初回の授業でも使います。著作権法にふれるので、コピーはやめてください。

*受講希望者は必ず初回授業に出席してください。当日の読売新聞朝刊も持参してください。

*チームワーク中心です。授業では毎回、冒頭に発表時間を設けるため、無断欠席・遅刻はお断りします。

*受講者は30人までとします。希望者が多い場合には、1年生を優先します。

*水曜日2限クラスのみ、上智大学との合同授業を予定しています。企業経営者らも参加します。

*4単位の授業です。金曜日はチームを中心にした時間で、この日のみ体育館で行います。

2. 授業の到達目標

- (1)新聞を毎日読む。
- (2)自分以外の誰かの立場で考えることができる。
- (3)論旨明快な文章を書ける。読み手に誤解させず、自分の考えを文章で伝える。

3. 成績評価の方法および基準

- (1)日々の課題(社説の視写、コンセプトマップ) 50%
- (2)期末課題(論文、ポートフォリオ、ポスターセッション) 50%

4. 教科書・参考文献

教科書

読売新聞の朝夕刊

参考文献

*帝京・上智大学の学生チームが作成したスペシャル教材を配ります。

5. 準備学修の内容

- (1)読売新聞の朝夕刊を毎日読んでください。
……授業日だけ読んでも社会を理解することは困難です。社会は日々刻々と動いています。
- (2)気になった記事をもとに、コンセプトマップを広げてください。
……毎日1時間は必要です。授業中にピアレビュー(履修者相互での評価)をします。
- (3)社説を書き写してください。
……論調への迎合は求めています。こちらも授業中、ピアレビューをします。
- (4)授業外でチームワークに取り組んでください。
……毎回、冒頭に発表と質疑応答の時間を設けています。

6. その他履修上の注意事項

「手書き」を重視しています。思考は自分の手で書くことで始まり、チームワークという「土俵」で磨かれ、書くことで思考がさらに深まる……。この繰り返しだからです。どのぐらい自分の思考力が鍛えられているか、毎回の最後10分で書く「リフレクションシート」でつかめます。A4サイズの9割以上を書くことが必須です。

教材に対する注文や意見、改善案はいつでも受け付けます。松本美奈(水2、金2限)までお寄せください。

7. 授業内容

- | | |
|-------|---|
| 【第1回】 | オリエンテーション なぜ質問力が大切か。
なぜ質問力か。なぜ新聞を教材に使うのか。質問力を磨くプロセスとは。 |
| 【第2回】 | チームビルディング
グループとチームは同じか、違うか? |
| 【第3回】 | 自分以外の誰かに「なりきる」
なりきるとはどういうことか |
| 【第4回】 | チームビルディング
チームでどう課題に取り組むのだろうか? |
| 【第5回】 | 自分以外の誰かに「なりきる」
なりきるには何を考えたらいいか |
| 【第6回】 | チームビルディング
チームのデメリットとは? |
| 【第7回】 | 自分以外の誰かに「なりきる」
なりきって何をするか |
| 【第8回】 | チームビルディング
チームのメリットは? |

- 【第9回】 論旨明快に問うために① 構造と作法
社説に何を学べるか
- 【第10回】 チームビルディング
どうしてチームになれないのだろう？
- 【第11回】 論旨明快に問うために② 構造と作法
新聞をどう読んだらいいのか
- 【第12回】 チームビルディング
どうしたらチームになれるのだろう？
- 【第13回】 チームビルディングをふりかえる(チーム編成を替える)
個人<チーム? 個人>チーム?
*最終課題のテーマを発表 *なりきるための「チーム読書」
- 【第14回】 チームビルディング
チームになれるか?
- 【第15回】 コンセプトマップ①
分解・分析・分類・転換・展開
- 【第16回】 チームビルディング
チームワークをどう進めていこうか?
- 【第17回】 コンセプトマップ②
自分自身のどんな思考が見えてくるか
- 【第18回】 チームビルディング
自分とメンバーの考えが違ったらどうするか?
- 【第19回】 テーマと論点①
コンセプトマップから質問を抽出する
- 【第20回】 チームビルディング
何もしないメンバーがいたらどうするか?
- 【第21回】 テーマと論点②
抽出した質問を磨く(分類・転換)
- 【第22回】 チームビルディング
「話し合い」ができないのは、なぜだろう? どうしたらいいのだろう?
- 【第23回】 テーマと論点③
タイトルをつける
- 【第24回】 チームビルディング
チーム内で「不公平」があるときにどうするか?
- 【第25回】 質問力を発揮する①
期末課題(リポート)提出、履修者相互の評価
- 【第26回】 チームビルディング
チーム内に「いさかい」が起きたらどうするか?
- 【第27回】 質問力を発揮する②
期末課題(ポートフォリオ)提出、履修者相互の評価
- 【第28回】 チームビルディング
「チーム」になれただろうか?
- 【第29回】 質問力を発揮する
ポスターセッション(チーム単位) 最優秀チームは、最終回で発表
- 【第30回】 チームビルディング①
クラス代表によるポスターセッション